

みつとみ俊郎 (作曲家/指揮者/フルート・リコーダー奏者/評論家/音楽プロデューサー/日本映画ペンクラブ会員)

## プロフィール

東京渋谷生まれ、小学校から大学までを渋谷区内で過ごす。

青山学院大学仏文科卒業。南イリノイ大学音楽学部を卒業、ミシガン州立大学音楽学部大学院を卒業して音楽修士号を得る。

アメリカでのソロ演奏やミュージカル、オペラでの演奏、[ランシング交響楽団](#)、[デトロイト交響楽団のフルート奏者](#)などの演奏活動をへて1983年日本に帰国。

帰国後、スタジオミュージシャンとしてレコーディング、ステージなどで演奏活動を開始する

坂田明、溝口肇、三宅榛名、菅野よう子、おおたか静流、屋敷豪太などさまざまな分野の音楽家たちと共演。

86年に、ヤン富田、[いとうせいこうとラップのアルバムを作る](#) (『建設的』ポニーキャニオン)。

88年には[メジャーデビューCD](#) (『STAND BY SATIE』東芝EMI) を全曲サティ作品をアレンジして制作する。

白石かず子、吉増剛造、藤富保男らと日本、アメリカでの[詩と即興音楽のコラボ「ポエトリーリーディング」](#)を数多く行う。

89年、アメリカの[ミネソタ大学のアーティスト・イン・レジデンス](#)として招かれ、詩人奥成達氏らと即興演奏を数々行う。

86年にホンダのVPの音楽、長崎ハウステンボスのイベント音楽の依頼を機に本格的な作曲活動を行う。

以後、プロミス、ハウス食品、花王、大阪ガス、DHCなど、数々のTV・CFの音楽、

[NHK・TVの番組「まちかどドレミ」](#)、[「ニャンちゅうワールド放送局」](#)、[「フランス語講座」](#)などの音楽、NHK ラジオ、北日本放送、栃木放送などの放送局ジングル、『湾岸ミッドナイト』『そうかもしれない』などの映画音楽や、

[「ファイナル・ファンタジー」](#)などのゲーム、アニメ、イベント等の音楽を多数作曲/アレンジする。

[音楽ライター](#)として過去に連載を持った雑誌は、「毎日が発見」「ミマン」、「ミセス」、「FMレコパル」、「ル・クール」、「バンド・ジャーナル」、「朝日れすか」、「暮らしと健康」、「ザ・フルート」など多数。他、中央公論、エル・ジャポン、婦人公論、月刊プレイボーイ、日本経済新聞、読売新聞、朝日新聞など、数多くの雑誌、新聞に執筆している。

これまでに出版した[著作は9冊](#) (うち新潮選書は5冊)。

最新刊『奇跡のはじまり〜ある音楽家の革命的介護メソッド』(新潮社)

『オーケストラの秘密』(NHK出版)、『41歳からのクラシック』(新潮選書)、『こんな音楽があったんだ』(清流出版)、

『音楽はなぜ人を幸せにするのか』(新潮選書)、『メロディ日本人論』(新潮選書)、『オーケストラとは何か』(新潮選書)、

『音楽のジャンルって何だろう』(新潮選書)、『フルートはいま』(ナンシー・トフ著「現代フルートの歴史」の翻訳(音楽の友社)。

このうち、『音楽はなぜ人を幸せにするのか』は2004年に、『41歳からのクラシック』は2007年にそれぞれ韓国で翻訳出版されている。

また、[彼の著作は、入試国語問題として毎年5校以上で出題される](#)。『オーケストラとは何か』が1993年の聖心女子大学の国語の入試問題に、同じく「音楽はなぜ人を幸せにするのか」が、2004年の進研模試の国語の問題、昭和女子大学の国語の入試問題、徳島大学総合科学部の入試センター試験問題として用いられ、彼の著作は、毎年10以上の中学、高校、大学で国語入試問題学校として使用され続けている。

FM広島とFM栃木で年間放送された『カフェ・ポートアズール』(1994年)という音楽情報番組で番組の[台本作家/DJ](#)をつとめる。

[プロデューサー](#)として、フランス人アーティストのキャロル・セラのアルバムを『ルージュの伝言』『セゾン・ダムール』などを含め6枚プロデュース。フランス人デュオ、レ・ドゥのアルバムを5枚プロデュースするなど数々の[フレンチ・ポップス音楽を仕掛ける](#)。

2000年 [NHKTVの子供番組『まちかどドレミ』の音楽監督](#)として5年間こども音楽を担当し、作曲、編曲、及び番組に出演する。

2004年 [NHKTVの子供番組『ニャンちゅうワールド』の作曲家](#)としてこども音楽を多数作曲/編曲する。

2001年~2002年 [尚美ミュージックスクールの作曲の講師](#)を2年間担当する。

2006年 [子供テーマパーク<キッズニア>設立準備スタッフ](#)として一年間キッズニア豊洲のオープンに尽力する。

2009年1~2月、長谷戸社会教育館において、渋谷区の生涯教育事業の一環として[『音楽と癒し』についての講演会/演奏会](#)を行う。

2007年~ 女性プロ奏者のみで構成される[レディース・オーケストラ<フルムス>](#)を創立、「音楽の看護師たちによる世の中の役に立つ音楽の普及」をコンセプトに、音楽監督、指揮者、作曲/編曲家などをつとめその活動を推進させている。

2011年4月 被災地福島の避難所を慰問、数回コンサートを行う

2011年5月 東日本大震災チャリティコンサートを内外の50人あまりのアーティストを集め主催する(文京シビックホール)

2013年~ [「音楽は介護を救う〜MUSIC-HOPE」プロジェクトを設立](#)。全国300を越える介護施設で「有料音楽サービス」を行う。

2014年6月 日経新聞でみつとみ俊郎とミュージックホープの活動が紹介される。

2014年3月 伊東市役所にて音楽とシナプソロジーによる認知症予防コンサート開催

2015.4.18 高輪区民センターホールにて『ミュージックホープ』コンサート

2015.5~ 認知症への音楽ケアのドキュメンタリー映画『パーソナルソング』上映会/[講演会を、国会を始め全国各地で行う](#)

2015.7.18 [世界的プレゼンイベントTEDxHanedaのスピーカー](#)として「音楽の認知症への効果」を英語でスピーチする。

2015.12~ 音楽を認知症患者に役立てる具体的なノウハウを説く[「みつとみ俊郎セミナー/コンサート」シリーズ](#)を始める

2016.4~ 東京赤坂のライブレストラン<ノバンパイレブンス>(宇崎竜童氏経営)でのアーティストプロデュースを行う。